

# 全国港湾に結集し闘う方針を確認 各単組定期大会開催



**日港労連**  
第八七回大会は全港湾結成七十周年という記念の年でもあったため、本大会においても大勢の来賓の方々からお祝いの挨拶を受けた。

第八七回大会は全港湾結成七十周年という記念の年でもあったため、本大会においても大勢の来賓の方々からお祝いの挨拶を受けた。

日本港湾労働組合連合会会長・中央執行委員長、全国一般労働組合全国協議会平賀中央執行委員長、全日本建設運輸連帶労働組合菊池中央執行委員長、ILWU／国際港湾倉庫労働組合ロバート・マクエラス委員長、WUハワイ支部副委員長、MUA／オーストラリア海事労働組合ウォーレン・スミス書記次長、MUNZ／ニュージーランド海事労働組合レイ・ファイフエ書記次長、ITF／国際運輸労連東京事務所瀧代表より次々と心暖まるご挨拶を受けた。

議案については、本部案を支持する立場からの発言が相続、討議の後、全てが承認された。

また、今日は役員改選期の本大会であったが、全員が再任となつたため、役員の変更はない。

谷中央執行委員長、港湾荷役事業関係労働組合協議会・日吉副議長をお招きして互いに団結と掛かる諸課題の克服に向けた取り組みを共に頑張ろうとの貴重なご挨拶を頂いた。

大会では、全国港湾・糸



八月三十一日～九月一日に掛け、第六十四回定期大会を神戸市内に於いて開催した。

大会では、全国港湾・糸

## 検定労連

て、激励の挨拶を頂いた。

大会は、花井副委員長に

よる開会挨拶および資格審査の後、大会議長として上

大會は、九月七日及び九日、

豊橋市シーサレス日港福に

おいて、代議員二十二名、

役員九名、傍聴を含む参加

者総数三十九名の出席のも

と開催された。全国港湾か

らは玉田書記長が来賓とし

について審議し、全会一致

る。山積する問題の解決に

満場一致で議決され、大

会宣言案

が満場一致で議決され、大

会宣言案

が満場一致で議決され、大